



平成 29 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ デ ィ ア
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 原 尾 正 紀
(コード番号：3935 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 賀 島 義 成
(TEL. 03-5210-5801)

第三者割当による第9回新株予約権(行使価額修正条項付)(コミット・イシュー※)、第10回新株予約権(行使価額修正条項付)(アップサイド・イシュー※)及び第11回新株予約権(行使価額修正条項付)(アップサイド・イシュー※)の発行に関するお知らせについての補足説明

当社は、平成 29 年 8 月 14 日開催の取締役会において決議いたしました、EVO FUND を割当予定先とする資金調達(以下「本資金調達」といいます。)に関しまして、補足説明資料を作成いたしましたのでお知らせいたします。なお、本資金調達の詳細につきましては、本日(平成 29 年 8 月 14 日)発表の「第三者割当による第9回新株予約権(行使価額修正条項付)(コミット・イシュー※)、第10回新株予約権(行使価額修正条項付)(アップサイド・イシュー※)及び第11回新株予約権(行使価額修正条項付)(アップサイド・イシュー※)の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

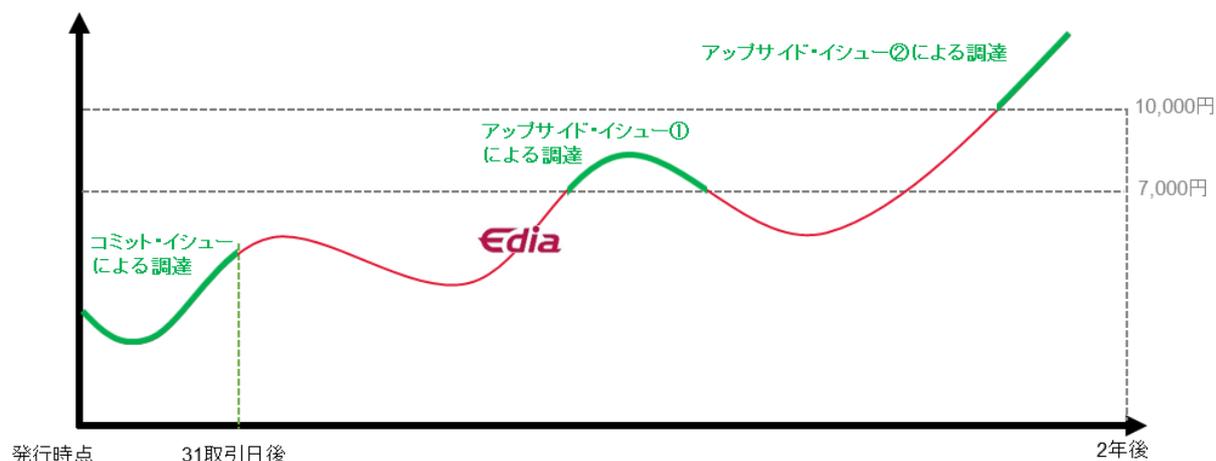
本資金調達の特徴

① 足元の資金確保と、将来の株価上昇メリットの両立

今回、発行する新株予約権 340,000 個は、

1. 第9回新株予約権 200,000 個は**足元の資金確保**を目的とした、『コミット・イシュー』と呼ばれる、調達の蓋然性を高めた設計
2. 第10回新株予約権 90,000 個は**将来的な資金需要**に備えた『アップサイド・イシュー』。現在の株価水準より高い **7,000 円以上で株価が推移した場合**に行使が開始される設計。
3. 第11回新株予約権 50,000 個は**将来的な資金需要**に備えた『アップサイド・イシュー』。現在の株価水準より高い **10,000 円以上で株価が推移した場合**に行使が開始される設計。

という構成となっています。今回の資金調達は上記3種類の新株予約権の組み合わせによるものであり、第9回新株予約権が残存している期間中は、第10回新株予約権及び第11回新株予約権を行使することができないこと、並びに上記のとおりそれぞれの新株予約権について行使が開始される時期が異なるため、希薄化の時期が分散されます。



※株価推移はイメージであり、株価予想では御座いません。

② コミット・イシュー採用による高い調達確実性

コミット・イシュー採用により、第9回新株予約権発行予定株数（200,000株）を、**平成29年10月18日（発行日の翌々日以降32価格算定日）**までに原則全株発行（**全部コミット**）する為、資金調達の確実性を向上させ、資金使途へ着実に充当させることが可能となります。

③ 資金調達額増額（アップサイド享受）の可能性

第9回新株予約権（コミット・イシュー／200,000株）、第10回新株予約権（アップサイド・イシュー①／90,000株）、第11回新株予約権（アップサイド・イシュー②／50,000株）の行使価額は、行使期間内の**将来株価**で決定します。したがって株価上昇の際には、資金調達額も増額する可能性があります。**尚、アップサイド・イシューの新株予約権に関して、第10回は7,000円未満での行使はされず、第11回は10,000円未満での行使はされず、現状の株価より高い水準でのみ資金調達が行われます。**

本資金調達の資金使途

当社が今後の成長事業と捉えて注力しているスマートフォンコンテンツ市場は、近年、スマートフォンの普及に伴い数多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化する厳しい環境となっております。このような環境におきまして、ユーザーがスマートフォンゲームに求める品質も非常に高まっており、それに伴い開発エンジニアの不足や開発期間の長期化などによる開発費用の増加が進んでおります。また、スマートフォンゲームの売上上位は、固定ファンが多くユーザー認知度の高いアニメ・漫画のIPタイトルを利用したものがその多くを占めており、有力なIPタイトルの取得はスマートフォンゲームの開発において非常に重要な要素になっています。

このような状況下で、2つの資金需要に対応すべく、本資金調達を実施いたします。

① ソフトウェア開発費用・IP取得費用

当社のゲームサービス事業におきましては、更なる収益の拡大のため、年間複数の新規スマートフォンゲームを投入することを計画しており、これに対応できる数の優秀な人材を確保するため、また、新規ゲームのモチーフとなり売上増加の寄与するアニメ・漫画等のIPタイトルを取得するため、本資金調達により調達する資金のうち、約837百万円をソフトウェア開発投資・IP取得費用に充当する予定であります。

② 将来のM&A・資本業務提携

当社は、ゲームサービス事業におきましてコンスタントに年間複数の新規スマートフォンゲームを投入することを計画しており、新規ゲームを継続的に開発・運用できる体制を構築するために、豊富な開発人員を持つ企業とのM&Aや資本業務提携を考えております。また、同業種の企業に限らず、当社とのM&Aや資本業務提携によりシナジーが見込まれるイラスト関連や位置情報に関連した企業とのM&Aや資本業務提携により、外部経営資源の活用や業容の拡大を図ることも、今後の当社の成長戦略として重要であると考えております。

当社が競争優位を築きながら事業を展開していくためには、素早い意思決定と機動的な資金拠出により、他社よりも先んじてこのようなM&Aや資本業務提携を行うことが、当社の競争優位を築くために必須であると考えております。そこで、本資金調達により調達する資金のうち、約900百万円をM&Aや資本業務提携を行うための待機資金に充当する予定です。

なお、本新株予約権については、将来の株価上昇を見込んだ上で行使価額を設定しているところ、当社は、本資金調達による調達がなされる時点における当社の財務内容や時価総額に見合ったM&A及び資本業務提携を推進する予定です。また、現時点において具体的に計画されているM&A・資本業務提携はなく、総額が約900百万規模となること以外には案件数・案件規模も未定ですが、今後案件が具体的に決定された場合においては、適時開示いたします。

本資金調達は他の資金調達方法との比較等、十分な検討を経た上で、当社の直面する状況に適した手法であると判断いたしました。また、本資金調達は一定の希薄化を伴いますが、上記資金使途に調達資金を充当する事で、中長期的に企業価値の向上へ貢献するものと考えております。